

ぬまたっ子

～ 『自立』 『共生』 『蛍雪』 ～

授業力の向上を目指して

沼田学園長 足田 博和

このような紙面を通して沼田学園の発信ができますこと感謝いたします。10月31日・11月1日の両日、2日間の日程で「沼田学園公開研究会」を開催しました。

沼田町は、平成7年度から、小・中の一貫・連携教育を構想して積極的に推進してきました。さらに組織的・効果的な教育活動を推進するため、平成30年に小中一貫校「沼田学園」を開園しております。今年度は、2年目になります。

沼田学園の先生方の授業力を向上して沼田の子ども達によりよい授業で学びを深めてもらいたい。日々、質の高い授業で、しっかりと基礎・基本の学力を身につけてもらいたいと学園の職員一丸となって取り組んできました。

1日目は中学校で、2日目は小学校で全教員が授業参観をして授業に対してのいろいろな意見交流をし、お互いの教育を知りながら、小中9年間を通して子ども達を育ていく教育の基礎固めをしました。子ども達に「沼田っ子でよかった～」と言ってもらえる教育活動の強力な推進を図っています。

沼田学園では、小中合同での先生方の研修会の開催や中学校からの乗り入れ授業・小学6年生の中学校登校など、お互いのことを知る機会は多いのですが授業参観や協議となるとなかなかタイミング等も難しくこのような研究会の機会はとても貴重な時間となります。

今回の公開研究会をひとつの糧として、さらに学園力を高めて子ども達によりよい教育活動ですくすくと成長できる環境を整えていきたいと思っています。

最後に、令和元年度も、こども園・小学校・中学校の絆を深め、地域・保護者の皆様と手を携えて学園の教育発展に努めてまいります。学園公開研究会を経て強靱な連携力をさらに生かしながら、学校・家庭・地域の絆を深め、校種の違いを超えて協働して教育を行ってまいりますので、沼田町民の皆様におかれましては、どうか沼田学園の教育に変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。



乗入授業

沼田学園では、中学校教員が小学校に行き指導を行う『乗り入れ授業』を平成27年度から実施しています。また30年度からは、小学校教員も中学校に行き指導を行う双方向での『乗り入れ授業』を行っています。今年度は、小学校には5・6年生を対象に算数・音楽を中心として複数の教科で、中学校には週1回程度教科を固定しない乗入と特別支援教育での乗入授業を実施しています。

乗入授業のメリットとしては、教員の専門性を生かしたより質の高い教育を行うことができることや、中学校の教科学習(教科担任制)へのスムーズな移行ができること等が挙げられています。



中学校登校

沼田学園では、毎年6年生が中学校に登校し1日中学校で生活をする『中学校登校』を行っています。本年度は年8回の予定で6月から行っています。

小学校での生活と中学校での生活は、授業時間一つとっても大きく異なります(一単位時間は小学校で45分ですが、中学校では50分となります)。そういった小学校と中学校の違いを入学前に体験し、中学校での生活に慣れていくことが大きな目的になります。これは中一ギャップの未然防止という観点からも大変重要になっています。

中学校登校では、中学校教員の乗入授業を行ったり、中学生との合同学習を行ったりと、ただ中学校で学習するだけではなく、小学校から中学校への円滑な接続に向けての取組を行っています。



こども園との連携

沼田学園では、沼田認定こども園との連携も行っています。この取組は“小一プロブレム”と呼ばれる小学校一年生の児童が学校生活に適応できないために起こる問題行動がないように、また安心して学校生活を送れるようにしていくための方策へとつながっています。

昨年度から、こども園と小学校の先生がそれぞれの授業を参観し子ども達の様子を見たり、1年生と年長組が交流学習を行ったりといった取組を行っています。また小学校では本年度から『スタートカリキュラム』を導入し、こども園で親しんだ活動(遊びや生活を通した学び)を取り入れたり、わかりやすく学びやすい環境づくり(合科的・関連的な指導の工夫)を行ったりして、子ども達が安心して小学校での生活をスタートできるようにしています。

